様式1 # 令和3年度　山梨県立甲府支援学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

学校目標・経営方針	ひびき合え　心豊かに　すこやかに

山梨県立甲府支援学校校長　佐田弘和

本年度の重点目標	
	1　安心安全
	2　質の高い授業
	3　開かれた学校

達成度		
	A	ほぼ達成できた。（8割以上）
	B	概ね達成できた。（6割以上）
	C	不十分である。（4割以上）
	D	達成できなかった。（4割以下）

評価		
	4	良くできている。
	3	できている。
	2	あまりできていない。
	1	できていない。

自　己　評　価							学校関係者評価	
	本年度の重点目標			年度末評価（ 2月 17日現在）			実施日 （令和 4年 2月 18日）	
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策	評価	意見・要望等
1	安心安全	人工呼吸器を装着する児童の支援体制の整備	評価アンケートの実施 データによる検証 まとめによる検証	保護者より医療的ケアに関する引継ぎが行われ、看護師による医療的ケアができるようになりつつある。	A	緊急時シミュレーションを通して、緊急事態への対応に備える。 巡回医療相談等を活用し、看護師への手技の講習を行う。	4	ヒヤリハット事例の蓄積や危険予知訓練の活用により、安全に関する教職員の自覚・意識が高くなり、安心安全な学校教育を目指す土壌がしっかりとしているので、今後も継続していただきたい。 医療的ケアが必要な児童生徒を受け入れるにあたり、看護師が安心して働ける体制を整備する意味でも、かかりつけ医との連携を模索してみることも必要だと思う。 給食の形態食の充実、摂食指導研修等の必要性を重視した取り組みは素晴らしいものであり、本校の特色でもあるので、さらなる充実を期待したい。
		ヒヤリハット事例の蓄積と分析による事故の未然防止		教職員全員で、ヒヤリハット事例を共有している。また危険予知訓練も定着し、事故の未然防止における教職員の意識は高いまま推移している。		重大事故ゼロを目指す。		
		歯科医摂食指導の充実		コロナ感染症の急激な拡大により、毎月1度の歯科医摂食指導や摂食指導研修会が実施できなかった。		感染症対策をとりながら、できる範囲で研修会や摂食指導を実施し、指導力の維持向上に努める。		
		感染症防止を含めた非常時対応の充実		緊急対策委員会を立ち上げ、コロナ感染症への対策を一貫した方針のもと、教職員が協力して取り組むことができた。		国や県の基準に準拠したマニュアルの見直しと職員や保護者との共通理解のもと対応を進めていく。		
2	質の高い授業	個別の指導計画に基づくPDCAサイクルによる授業実践	評価アンケートの実施 まとめによる検証	実態表をもとに作成した個別の指導計画を学期ごとに見直し、指導と評価の一体化を進めることができた。	A	年度をまたいだ引継ぎと系統立てた指導を確立していく。	4	児童生徒一人ひとりの実態に即した指導を目指し、先生方が日々努力されていることに感謝したい。外部専門家なども含め、様々な角度から児童生徒を見ることが大切だと思うので、子どものことを話せる時間を大切にしてほしい。 視線入力やICTの活用方法について、児童生徒の成長・発達に合わせた対応をしていると思うので、今後も検証を重ね、よりよい方法を模索・発信していただきたい。
		専門性の高い外部講師・授業アドバイザーとの連携による授業づくり		PT、OTや授業アドバイザーによる助言や指導を受け、児童生徒の指導に活用することができた。		年間を通じた授業改善につなげていく。		
		ICT機器の活用の推進		ICT支援員を活用することで、職員のICT機器を活用する機会が増え、児童生徒の授業や活動に積極的に取り入れられるようになった。		視線入力を含めたICT活用への取り組みを強化していく。個々で対応しているものを集約し、研修会等を通じて学校全体で共有できるようにする。		
3	開かれた学校	地域自治会・盲学校との連携による防災体制整備	評価アンケートの実施 まとめによる検証	洪水時を想定して、盲学校への避難訓練を初めて実施したことにより、職員や児童生徒の意識が高まった。	B	コロナ禍における地域自治会や盲学校との連携を模索していく。	3	コロナ禍で思うような活動ができない中、様々な工夫がなされており、オンラインによる授業交流等で、今後も継続していただきたい。 盲学校への避難訓練を初めて実施したことは素晴らしいことだと思います。今後、地域自治会との連携するにあたって、感染予防も含めた防災体制の整備が必要だと考えています。
		交流及び共同学習の充実		ビデオやポスター作品、オンラインによる間接的な交流活動を進めてきた。		今後も継続していくと同時に、コロナ禍にあっても教育目標を達成できる方法を検討していく。		

留意点 （1）重点目標と評価項目については，各学校の現状と課題に基づき，実情に合わせて重点化し，設定する。
（2）学校関係者評価については，年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し，評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは，最終回の学校評価委員会等を開催し，学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。